

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1、わたしはふしぎでたまらない	10	<ul style="list-style-type: none"> ●詩のおもしろさや魅力について話し合う。 ●描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。 ●伝えたいことを明確にして表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●読むことにおいて、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ●自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている 	<ul style="list-style-type: none"> ●すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
2、これは脳がもともと持っている癖です	12	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ●考えの中心を明確にして、段落構成を考得ながら文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ●「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●粘り強く引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、学習課題にそって図表などを引用して考えたことを書こうとしている。
3、夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た	11	<ul style="list-style-type: none"> ●本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
4、森と川と海は一つなのだ	12	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に文章の構成について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことを書こうとしている。
5、今は昔、竹取の翁といふ者ありけり	11	<ul style="list-style-type: none"> ●音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。

6、白象は寂しく笑ってそう言った	12	<ul style="list-style-type: none"> ● 語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ● 身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 ● 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ● 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 粘り強く表現の効果について根拠を明確に考えるとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 ● 粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
7、子どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっています	11	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 粘り強く自分の考えを確かなものにするるとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
8、ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである	12	<ul style="list-style-type: none"> ● 問いと答え、事実と意見の関係を捉える。 ● いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ● 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すすんで理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。 ● すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
9、「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」	10	<ul style="list-style-type: none"> ● 語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、学習の見通しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。